



つながりより

すみひとみより

久美愛厚生病院が発行する
私たちと地域を繋ぐ広報誌

特集 あなたの骨は大丈夫ですか？
骨粗鬆症ってどんな病気？

7
2025
vol.3

外来診療担当医一覧表

受付時間 8:15～11:00 ☎0577-32-1115
救急の場合は24時間いつでも受付しております

2025年7月1日現在		月	火	水	木	金
内科	循環器内科(診察室32)	村田 欣洋	横山有見子	大井 拓馬	村田 欣洋	横山有見子 第1・2・5週 大井 拓馬 第3・4週
	呼吸器内科(診察室34)	垣内 大蔵	加藤 俊夫	横山 敏之	横山 敏之	加藤 俊夫
	消化器内科(診察室42)	横畑 幸司	喜田 裕一	喜田 裕一 第1・3・5週 横畑 幸司 第2・4週	喜田 裕一	横畑 幸司
	腎臓内科(診察室44)	—	山田 勝己	—	—	山田 勝己
	腎臓内科 診察室44	—	—	代務医師 (午後)	代務医師 (午前)	—
	神経内科 診察室45	代務医師 (午後)	代務医師 (午前)	代務医師 (午後)	代務医師 (午前)	—
心療内科	内分泌内科 診察室43	—	—	代務医師 第4週	代務医師 第2週	—
	血液内科 診察室43	代務医師〈第1・第3金曜日〉(午後)				
小児科	糖尿病内科 診察室43	代務医師〈第4金曜日〉				
	外来(予約制)2階診察室1			安藤 寿博	安藤 寿博	
外科	診察室14	—	—	代務医師 10:00～11:30	—	—
	午後診	—	代務医師 予防接種 15:00～15:30 予約診 15:30～17:00	代務医師 予約診 15:00～17:00	—	—
整形外科	診察室51	前田 孝	小林 聡	高木 健裕	小林 聡	関村 敦
	診察室52	楠 弘充	三品 拓也	日比野佑弥	関村 敦 (初診のみ)	高木 健裕
脳神経外科	血管外科 診察室53	第1・第3・第5金曜日 10:30～15:00				
	乳腺外来 診察室52	水曜日 13:30～15:00〈予約制〉				
皮膚科	形成外科 診察室51	毎週月曜日 10:30～12:00〈代務医師・予約制 ※診察日確認必要〉				
	シャント外来 診察室53	第2水曜日・第4火曜日〈予約制〉				
泌尿器科	診察室71(再診)	永金 宗臣	田口 勝啓	箕浦 侑吾	田口 勝啓	永金 宗臣 初再診
	診察室72(初診)	箕浦 侑吾	永金 宗臣	田口 勝啓	箕浦 侑吾	—
産婦人科	診察室73(再診)	—	—	五藤 弘	—	五藤 弘
	膝肩外来(診察室73)	第2金曜日 8:30～11:00〈代務医師〉 ※診察日確認必要				
眼科	午後(予約制)	ギブス・装具(予約)14:00～	手術	手術	ギブス・装具(予約)14:00～	手術
	診察室62	国本 圭市	山本 昌幸	国本 圭市	山本 昌幸	国本 圭市
耳鼻咽喉科	診察室61	左合 史拓	国本 圭市	左合 史拓	国本 圭市	左合 史拓
	診察室64	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里
小児耳鼻科外来	午後診	15:30～16:30 学童対象	—	—	15:30～16:30 学童対象	—
	診察室82	山本 貴大	山本 貴大	山本 貴大 ※予約のみ診察	山本 貴大	山本 貴大
小児眼科	診察室77	岩佐 剛	岩佐 剛	岩佐 剛	岩佐 剛	岩佐 剛
	代務医師 ※婦人科診療のみ	—	—	—	—	代務医師
小児歯科	診察室23	尾崎 弘典	尾崎 弘典	尾崎 弘典	尾崎 弘典	尾崎 弘典
	診察室26	高畠 隆	高畠 隆	高畠 隆	高畠 隆	高畠 隆
小児矯正科	代務医師〈第1・第3・第5木曜日〉	14:30～16:30				
	小児耳鼻科外来	15:30～16:30	—	—	15:30～16:30	—

月に一度、正面受付に保険証のご提示をお願いします。

JA岐阜厚生連 飛騨医療センター
久美愛厚生病院

〒506-8502 高山市中切町1番地1 TEL:0577-32-1115

編集後記

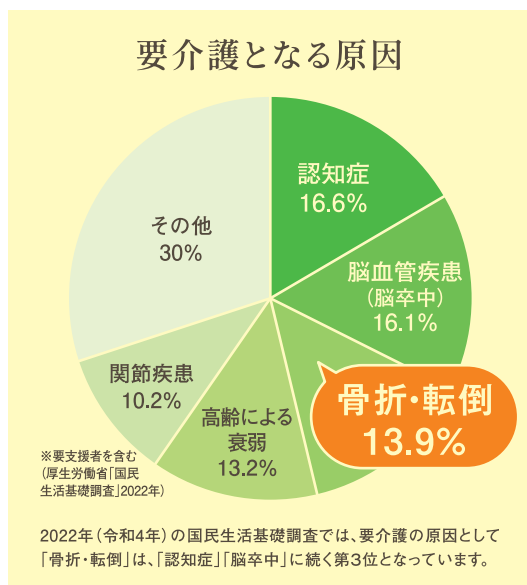
みなさん、日焼け対策はしていますか？私は、日焼けをするとすぐに肌が黒くなってしまうので、必ず日焼け止めクリームを肌に塗ったり、日傘をさしたり、髪の毛にも日焼け止めスプレーをしたりしています。日焼け対策を万全にし、今年の夏も乗り切りましょう。
(久美愛厚生病院 地域広報委員会)

病院からのお知らせは、ホームページでもご覧いただけます。

久美愛厚生病院 検索
<http://www.kumiai.gfkosei.or.jp>

あなたの骨は大丈夫ですか？ 骨粗鬆症ってどんな病気？

皮膚や髪の毛と同じように、骨は毎日新陳代謝を繰り返すことで、古い骨が壊され新しい骨が作られています。しかし、加齢などが原因で新しく作られる骨の量よりも壊される量が多くなると、骨密度が減少し、骨がもろくなつて骨折しやすくなります。このような状態が骨粗鬆症です。骨密度は20歳頃をピークに、加齢とともに少しずつ減少していきます。特に閉経後の女性は骨量を維持する働きを持つ女性ホルモンの分泌が急激に低下するため、骨粗鬆症のリスクが高く、患者数は60歳以上の女性の4人に1人、70歳以上の女性の2人に1人、80歳を過ぎると3人に2人と言われています。骨粗鬆症の原因は、閉経以外にも、ステロイド薬の服用や喫煙、飲酒、遺伝、ホルモン治療などがあり、男性も注意が必要です。



骨粗鬆症になると、つまずいて手や肘をついた時、重たい物を持ち上げた時、くしゃみをした時など日常のちょっとした動きだけで骨折しやすくなります。骨折をすると体の動きが痛みで制限されるため、日常生活への支障やQOL（生活の質）の悪化により要介護状態になる可能性が高くなり、寝たきりにつながるリスクがあります。

骨粗鬆症で骨折しやすい部位



骨粗鬆症リスク度チェック

1つでも当てはまる方は要注意!

- ☐ 閉経を迎えた
- ☐ 以前より身長が縮んだ（生涯最大身長より3cm以上）
- ☐ 痩せている（BMI19未満）
- ☐ ホルモン治療を行っている
- ☐ ステロイド剤を3ヶ月以上内服している
- ☐ 両親に大腿骨の骨折歴がある

「最近身長が縮んだ」という方は注意が必要です。骨粗鬆症のリスクは、身長が2cm低くなると13.5倍、4cm低くなると20倍になります。しかし、骨粗鬆症は痛みや自覚症状がほとんどありません。自ら病気に気づくことが難しいため、早期に予防や治療に取り組むために、まずは自分の骨の状態を知ることが大切です。リスク要因が高い方は、一度整形外科にご相談ください。

骨粗鬆症リエゾンチームが始動しました。



骨粗鬆症の治療率の向上、治療継続率の向上を目指し、久美愛厚生病院では昨年10月に骨粗鬆症リエゾンチームを立ち上げました。リエゾンとはフランス語で「連携・連絡」という意味です。整形外科医や看護師をはじめ、薬剤師、栄養士、理学療法士、放射線技師による各分野の専門スタッフチームとなり、骨粗鬆症で骨折をした患者さんに対して、投薬・栄養・運動を3本柱とし、一人ひとりの患者さんの生活に合わせた治療方法を提案しています。



高齢化がすすむ今、「健康でいきいきとくらせるじかんをのばす」ことが大切です。骨粗鬆症リエゾンチームは、飛騨地域の健康寿命を延ばし、元氣な高齢者が増えるように日々活動しています。

骨粗鬆症の治療を受けた患者さんの声

もう痛い思いをしなかったの、早く治療を開始してよかった。

家族に迷惑をかけたくないので、頑張って治療をしたい。

骨折により寝たきりになるのが怖いので、早いうちから治療してよかった。

お問い合わせは
久美愛厚生病院
整形外科まで
0577-32-1115
(代表)

形成外科をご存じですか？

外見の悩みと機能の問題を一緒に解決します

現在久美愛厚生病院では、毎週月曜日に形成外科の外来診療および手術診療を行っております。形成外科は岐阜県においてまだ馴染みのない診療科だと思います。整形外科とよく間違われますが、形成外科ですので覚えていただくと幸いです。

まず、形成外科について紹介いたします。形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手段や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する、外科系の専門領域です。国の定めた基本診療科19領域（形成外科、内科、外科、産婦人科、整形外科etc...）のひとつになります。

形成外科には様々な専門分野があります /

創傷外科分野

外傷・熱傷・ケロイド・慢性創傷など様々なキズ、傷跡をキレイに治す専門家です。骨折も顔については形成外科で治療します。

再建マイクロサージャリー分野

悪性腫瘍などを切除した後や大きなけがをした後に手術で元に近い状態を作ります。また、顕微鏡手技が必要な血管・神経の再建や、リンパ浮腫の手術治療なども行います。

皮膚腫瘍外科分野

皮膚皮下のできものの手術やレーザー治療などを行います。

小児形成外科分野

口唇や耳、手足、胸、臍など様々な先天的な変形に対する治療を行います。

美容外科分野 など

その他、眼瞼下垂症（がんけんかすいしょう）や腋臭症（えきしゅうしょう）など全身の多岐にわたる疾患を診ます。

よくあるところですが、まぶたの下がりって治せたの？ケロイドって治療できたの？といった疑問・気付きがあります。保険で治療が可能です。当院では上述した形成外科全般の診察・治療を行っております（保険診療となりますので美容外科分野は行っておりません）。局所麻酔でできる小手術から再建手術などの大手術まで外科に協力いただき行っております。飛騨高山地域にも形成外科診療を広げ、飛騨高山地域でも形成外科診療を受けることが出来るようにしたいと考えております。お気軽にご相談ください。

お問い合わせは
久美愛厚生病院 形成外科まで
0577-32-1115 (代表)

4月から オレンジ外来が 始まりました

オレンジ外来とは

オレンジ外来とは認知症看護外来のことで、当院独自の呼称となっています。なぜオレンジ外来かというと、認知症の普及啓発のシンボルカラーがオレンジ色だからです。温かさを感じさせるオレンジ色は「手助けします」という意味をもつといわれ、認知症で困っているすべての方の助けになりたいという思いでオレンジ外来を開始することとなりました。

オレンジ外来の特徴

オレンジ外来は医師が行う外来ではなく、認知症に関する資格を有する看護師が認知症の相談に対応する外来です。必要に応じて介護サービス等の社会資源に関する情報提供を行ったり、診療への橋渡しを行います。

オレンジ外来の対象者

どなたでもご相談いただけます。当院に受診していない方でも、家族の方のみでのご相談も可能です。



例えばこんな方に、
オレンジ外来に
ご相談いただけます



最近周りの方に物忘れを指摘されて
認知症の不安があるけれど、
どこに相談すればよいかわからない。
不安に感じていることをお聞きして、少しでも不安が解消されるように一緒に対策を考えていきます。認知機能の状況を客観的に評価し、認知症の予防や備えについて情報提供いたします。

以前より両親の物忘れが多くなり、
同じことを何度も聞かれると、
つい怒ってしまい
心苦しく感じて悩んでいる。

ご家族の思いを自由に話していただけます。ご両親と相談者様がともに心地よく過ごせる方法を一緒に考えていきます。また、物忘れが加齢によるものか認知症によるものかを評価し、認知症が疑われる場合は、受診や診断、治療・介護サービスについて情報提供を行います。ご両親の通院の付き添いの機会にオレンジ外来をご利用いただくことも可能です。

日時：平日の13時から17時まで（状況により時間調整をいたします）
受診の希望や相談は久美愛厚生病院 0577-32-1115へお電話いただき、「オレンジ外来希望」とお伝え下さい。

「最新の陽子線治療」について講演会を開催しました

3月19日(水)に、久美愛厚生病院にて市内の医療関係者70名が参加する講演会を開催しました。講師として中部国際医療センター 陽子線がん治療センター施設長 不破信和先生をお招きし、「最新の陽子線治療」についてご講演いただきました。

陽子線治療とは？

がんの治療法には、外科手術、化学療法、放射線治療が三大治療法として挙げられますが、陽子線治療とは水素の原子核(陽子)である陽子を加速しエネルギーを高めて出来る陽子線を照射する治療法です。陽子線治療はがん細胞に正確に放射線を届けることができ、正常な組織への影響を抑えられるのが特長です。そのため、治療後の生活の質(QOL)を維持しながら、負担を少なく治療を受けることが可能になります。

進化する陽子線治療

近年、陽子線治療の技術は大きく進歩しています。不破先生によりますと、中部国際医療センターに導入された最新鋭の「ProBeam360」は、より精密な照射を実現し、複雑な形のがんにも対応できるようになったとのこと。これにより、より多くの患者様に適した治療が提供できるようになります。

免疫治療との併用にも期待

免疫治療と陽子線治療を組み合わせることで、副作用を抑えながら高い治療効果を得る可能性も注目されています。がん治療は進化を続けており、一人ひとりの状態に合わせた最適な治療法を選ぶことが重要です。



不破先生は、「最新の陽子線治療ががん患者様にとって希望の光となるよう、さらなる発展に努めていきたい」と講演を締めくくられました。当院では、今後も地域の皆様に必要な医療情報を提供し、より良い治療環境を築いてまいります。また、飛騨地域には陽子線治療を行う施設はありませんが、中部国際医療センターとの連携を深め、がん患者様が適切な治療を受けられるよう体制を整えてまいります。

やまかわ こうへい
山川航平



高山では、日本酒をたくさん楽しみたいと思っています。酒蔵巡りや、富山からきた海鮮も楽しみです。将来の進路として内科を考えているので、久美愛厚生病院の先生方にご指導していただきたいと思っています。

あらまち みき
荒町美希



高山の山に囲まれた自然豊かな景色に惹かれて、北海道からやってきました。登山の経験はあまりありませんが、せっかくなら色々な山に登ってみたいと思っています。研修医として、どの科でも積極的に学んでいきたいと思っています。座右の銘は、臨機応変です。よろしくお願いします。

ながやま ひろき
永山寛幾



高山では美味しいものを食べたり、温泉巡りをしたいと思っています。研修医としては周りのスタッフや先輩から謙虚な姿勢で学び、知識や技術を身に付けていきたいです。座右の銘は人間万事塞翁が馬です。良いことも悪い事も一喜一憂せず、次に繋がると信じ生きていきたいと思っています。

研修医を紹介します

J.M.S(ジャパン・マンモグラフィ・サンデー)に賛同しています

当院は子育て・介護・仕事など多忙で、平日に検診を受けに行きにくい女性の皆さまが、休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう取り組んでいるJ.M.Sに賛同し、今年も10月の日曜日に乳がん検診を行います。当日の検診はすべて女性スタッフが行います。事前予約制です。詳細はHPなどで9月頃にお知らせしますので、ご確認ください。



<https://www.kumiai.gfkosei.or.jp/>

ISO9001の更新認定を取得しました

久美愛厚生病院は、品質マネジメントの国際規格「ISO9001」の定期審査を通過し、認証を維持・更新いたしました。ISO9001はより良い医療サービスの提供するための「しくみ」や「仕組みづくり」の国際基準であり、世界中で活用されています。

私たちは2004年の初回認証取得以降21年間ISO9001の認証を維持し、医療の質と安全を高める取り組みを継続し、改善を重ねてまいりました。今後もこの仕組を活かし、飛騨地域の皆様から信頼される病院であり続けられるよう努めてまいります。

3階南病棟のベッドサイドに獅子がやってきました！

長期療養となる患者さんに少しでも四季を感じて頂けるよう様々な行事を開催しています。今回は、4月15日の高山祭に合わせて、獅子面を被ったスタッフが一人ひとりのベッドサイドにお邪魔し、お祭り気分を味わってもらいました。突然の訪問に、普段見せたことのない表情や素振りが伺え、大成功に終わりました。



た。後日面会にみえたご家族も当日の写真を見て、「すっかり目を開けてニッコリするのを久しぶりに見ました！」と、大変好評でした。

今後も長期療養される患者さんが病院内で少しでも季節を感じ、行事を通じてみられる変化を大切にしながら



ら、スタッフ一同様々な行事を企画し、開催していきたいと思っています。



ふれあい看護体験を実施しました

5月12日は近代看護の師、ナイチンゲールの誕生日であることにちなみ「看護の日」とされています。看護師の仕事の学び魅力を感じてもらおうと5月10日にふれあい看護体験を実施しました。飛騨地区の高校生23人が参加し、白衣を着用して看護師の指導のもと血圧測定やモデル人形を使用した看護師の疑似体験、実際の患者さんとのコミュニケーションや足浴などを行いました。初めて医療の現場に触れる学生も多く、真剣な表情で取り組む姿が印象的でした。参加した学生からは「進路を考える上での良い体験となった。患者さんからありがとうと言ってもらえて嬉しかった」という感想が聞かれました。今回の体験を通じて、看護の魅力ややりがいを感じた高校生たち。未来の看護師が生まれるきっかけとなる意義深い一日となりました。

